令和4年度予算に対する各会派の意見表明

※各会派から提出されたものを原文のとおり掲載しています。

各会計に対する各会派の賛否

会　計	結　果	自　民	公　明	自・無	共　産	品　改	ネット	しな無
一般会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成
国民健康保険事業会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	反対	賛成
後期高齢者医療特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成
介護保険特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	反対	賛成	賛成	賛成
災害復旧特別会計	可決	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成

品川区議会自民党

歳入では、児童相談所の財調配分見直し協議や、ふるさと納税による流出の増大対策も引き続き求められます。

歳出では、ワクチン接種や経済政策、区民生活支援、また、新庁舎建設基本計画、デジタル化の推進、児童相談所の準備、町会・自治会の支援、防災対策の拡充、高齢者・障害者福祉の充実、水辺の利活用、介護福祉専門学校の拡充、八潮の街づくり、水族館の改築検討、子育て支援、環境対策の充実、オリンピックパラリンピック大会のレガシーの創出と継続、タブレット学習などが、予算化されています。私たち会派が地域の皆様や各種団体から頂いた声をもとに要望や提案した施策であり着実に具体化されることを要望します。

最後に、「新型コロナウイルス感染拡大防止」と「地域経済の回復」を最優先に考え、区内業者や区民全員を守るのだという覚悟をもって、基金を活用して迅速かつ的確に実施する事や、未来につなぐ長期基本計画の着実な実施を強く求めます。

そして、笑顔あふれる、住んでいてよかったと実感できる品川となれるため我々も全力で活動することを約束させていただき、品川区議会自民党の意見表明とします。

品川区議会公明党

令和４年度一般会計予算は、特別区民税の持ち直し等で、前年度比3.6％増となり、各特別会計においても適切な予算編成が行われたと認識いたします。

区民サービスでは、新型コロナ拡大防止対策に重点が置かれた他、公明党推進施策等が拡充されました。子宮頸がんワクチンや3歳児健診フォトスクリーナー、エコルとごしやゼロカーボンシティ宣言などの健康、環境施策。認知症や施設整備、ヤングケアラー支援や在宅・施設サービス、手話言語条例関連事業や児童発達支援センター検討など高齢者、子育て、障がい児者施策。新防災ラジオや要配慮者支援、空き家活用や自転車活用、町会や商店街・中小企業支援など災害対策、まちの活性化施策。教育では、特別支援教育や生理用品の継続配布などであります。

今後は、新型コロナ対策、生活支援、経済活性化の他、高校生医療費無償化、要配慮者家賃の低廉化、食品ロス削減、学校給食ストローレス、パートナーシップ制度等の会派の意見・要望を、今後の区政へ活かされるよう要望します。

２月24日に始まったロシアのウクライナ侵略は、尊厳な生命を暴力的に侵し、奪い去る行為で断じて許されるものではなく、即時に軍事行動を停止し撤収すべきである、と強く訴えます。

自民・無所属・子ども未来

品川区議会自民・無所属・子ども未来は、令和４年度一般会計、同国民健康保険事業会計・同後期高齢者医療特別会計、同介護保険特別会計、同災害復旧特別会計の各歳入歳出予算の全てについて賛成いたします。

当予算は、新型コロナウイルスの感染拡大防止、地域経済の回復を最優先として、一般会計予算を前年度比プラス3.6パーセントとなる一千890億七千200万円とし、区が直面する課題を積極的に解決すべく編成されました。

また、東京２０２０大会レガシーを継承、脱炭素社会の実現、新庁舎整備に向けた基本計画策定、町会・自治会への支援の充実、保健所体制の強化、発達障害児支援の強化、障害者グループホームの整備、商店街支援の強化、コンテナ型喫煙所の整備、行政手続オンライン化の促進、区立図書館の充実、ヤングケアラー支援体制の構築、粗大ごみをリユースなど予算化されています。また私たち会派も安全・安心を確保する医療の充実、暮らしを豊かにする経済活性化に全力を尽くします。

予算審査で会派所属議員が行った提案・提言が十分に事業執行に反映され、更なる区民福祉の向上が図られることを望み意見表明とします。

日本共産党品川区議団

コロナ禍によって格差と貧困が拡大。税収増で過去最大となった豊かな財政はコロナ対策、生活困窮者への支援、社会保障の充実にこそ使うべきと以下要望しました▼ＰＣＲ等検査を誰もがいつでも無料で受けられる体制を。長期間過労死ライン超える働き方改善へ保健師増員を▼羽田新ルートは深刻な騒音被害・氷塊の落下物発生。コロナで減便の今、運用停止を求めよ▼高すぎる国保料は大幅値上げでなく引き下げこそ。子どもは18歳まで全額無料に▼後期高齢者医療保険料の値上げと10月からの窓口2割負担中止を▼９千円にも及ばない介護職への処遇改善加算は引き上げを求めよ▼多くの障害者・家族が反対したぐるっぽの指定管理者変更は検証を▼子どもの権利条例制定と少人数学級を▼武蔵小山や大井町、大崎など商店街や街を壊し、住民追い出しの再開発は中止を▼リニア新幹線は外環道の陥没事故での工事差し止めの地裁決定を教訓に。環境破壊・大量電力消費など問題だらけ、中止求めよ。教室型説明会を求めよ▼気候危機打開へ環境基本計画改定は2030年までにCO_2削減目標を2010年比最低でも50％に▼区政全体にジェンダー平等の視点を▼ロシアのウクライナ侵略は国連憲章違反。即時・無条件撤退を。

品川改革連合

令和４年度の一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療・介護保険・災害復旧の３つの特別会計の各予算に賛成します。新型コロナ感染拡大と緊急事態宣言による人の行動制限や企業の営業制限は、国民の命と健康、雇用と企業経営に甚大な被害を与え、さらに国民に恐怖と不自由な暮らしをもたらしました。特に消費の激減から休業・廃業・転業や隠れ倒産が増大し雇用も急減しました。多くの企業の資金は底をつきリストラも限界、勤労者は労働時間の減少・雇い止め・失業などで、所得も激減し大半の国民の暮らしは悪化しました。さらにコロナ不況の中、ウクライナ侵略戦争による原材料の急騰や円安で、消費者物価と企業物価が高騰したため、大半の国民の家計と企業経営はより一層悪化していますので、その支援に一層取り組んで頂きたい。またコロナ規制は緩和され社会・経済の再生に向いますが、今後も予防対策に努めると共に、介護・保育看護従事者の低賃金の改善や、羽田新飛行ルートの変更を国に働きかけて頂きたい。そして平穏な国家にいきなり侵略戦争をしかけ国民を殺りくするロシアに対し、世界は国を守るウクライナを見捨てずに、世界平和をぶち壊すプーチン政権を倒すべきです。

品川・生活者ネットワーク

今の最優先課題は、新型コロナ感染症拡大防止と暮らしの再建です。庁舎建て替えや大規模な再開発を今急いで進めるべきではないと主張します。

区庁舎はいずれ建て替えが必要で、計画的な資金準備も必要なので庁舎整備基金条例には賛成、しかし、その基金に最終補正予算で一度に30億円の積み立ては、容認できず反対です。

区内のまちづくり、再開発には適切な情報公開と区民参加を要望します。

ＰＦＩ導入には慎重な検討を求めます。

感染症の影響で増えた女性・若者の自死に危機感を覚えます。区の自死予防策を評価し、支援団体とのネットワークによる施策推進を求めます。

給食の放射能検査終了は遺憾です。国内外の状況で、しかるべき時には検査再開を強く求めます。給食の安全性では遺伝子組み換え食品と同様、ゲノム編集食品の排除を求めます。

品川区環境基本計画の見直しに当たり、身近な化学物質の影響に、予防原則による対応を求めます。５Ｇ電磁波も、予防原則による注視を求めます。

羽田新ルート問題もリニア中央新幹線も区民の暮らしに関わる自治体政策の問題でもあります。区は、自治体の役割として、両計画の中止を国に対して求めるべきと主張します。

しながわ無所属クラブ

しながわ無所属クラブは、令和４年度品川区一般会計をはじめ国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、災害復旧特別会計の各会計予算全てに賛成いたします。

令和４年度予算は、長期基本計画の着実な実現に向けた予算とし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を最優先にスピード感を持った取組の実施と、地域経済の回復や脱炭素社会の実現、子どもの未来と区の発展に繋げる東京２０２０大会のレガシーに取組む姿勢を評価いたします。

今後、ＡＩやＩｏＴなどの最先端技術の活用とデジタル化・ＤＸ化の推進、庁舎建て替え、羽田新飛行ルート、福祉の充実、防災対策強化、学校教育の充実、地域経済の回復、環境対策の推進、多様性の推進など、各課題への積極的な取組みも求めます。

また、現代社会における多様なニーズ捉え、その必要性を見極め、迅速かつ柔軟な対応・対策が必要となりますので、こうした視点を持った取組となるようお願いいたします。

今回の予算特別委員会において我が会派の所属議員が質問の中で指摘・提案した各項目を真摯に受け止め、予算を執行することを要望して、しながわ無所属クラブの意見表明といたします。